



やまがた



つなぐ農業

ながあらし
長嵐

ひとし
仁さん(上竹田)

農業は、親が年を取ったから“自分がやらないといけない”と覚悟を決めて選んだ道だという仁さん。

専業農家になって6年が経った今では、お米・りんご・スイートコーン・玉ネギを作っています。

「天候に左右されるが、頑張った分は自分にかえて来るのがやりがいです」

作物を見守る笑顔は今日も眩しい。(7月9日 りんご園にて)

働く姿

告知板

**ふるさと伝承館出張ミニ展示
図書館コラボ企画「平和への祈り」展**
この度、戦争に関する大変貴重な資料を寄贈していただきました。平成最後の夏、そして終戦から73年の本年。当時を振り返るきっかけにしてみませんか？

展 示

期 間 8月1日(水)~8月26日(日)
(月曜日休館)

会 場 山形村図書館内
問合せ 山形村教育委員会 (☎98-3155)

映画上映会&展示説明

日 時 8月10日(金) 午後1時30分~
場 所 映画上映...ふるさと大ホールにて
展示説明...映画上映後、図書館にて

その他 詳細は次のページの図書館からのお知らせをご覧ください。

下大池消防操法大会激励式

6月15日(金)、
小学校グラウンドにて7月の消防ポンプ操法大会へ出場する下大池分団への激励式が行われました。
村長、消防団長より「春から訓練に励んできた成果を十分発揮してほしい」と激励をもらいました。



に一生懸命取り組んでいます。

松本消防協会ポンプ操法大会



7月1日(日)、筑北村本城グラウンドにて松本消防協会主催の「ポンプ操法・ラッパ吹奏大会」が行われました。

山形村からは、下大池分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。当日は晴天に恵まれ、気温も30度を超える暑さになりましたが、日ごろの訓練の成果を発揮して真剣な眼差しで競技に参加していました。



ピアやまがた防災訓練

7月4日(水)、特別養護老人ホームピアやまがたにて防災訓練が行われました。職員に加え、山形消防署、山形村消防団、山形村、近隣住民の総勢124名が参加しました。今回は夜間の火災を想定しての訓練。あいにくの雨でしたが近所から若い方も積極的に参加してくれました。所長は「車イスの方など自力で避難できない入所者がほとんどです。有事の際には職員以外の協力も



必要なので、今回たくさんの方に訓練に参加していただきとても心強いです」と感謝していました。私も、もし何かあったら他人事と思わず支援に駆け付けたいです。

山すそ

日本列島はまた地震が多くなってきた。明日は我が身ではあるが、実際のところ備えが充分あるとはいえない。何かで買った水の入れ物と少しの食べ物があったような...と、そんなうる覚えである。自分の中では一番大事なことは人とのつながりだと思っている。昔の自分は基本的に自己中心的で他人の意見など聞く耳も持ち合わせてなどおらず、それはそれでいい思っていた。しかし、常会の先輩に何度も諭されてなれば強引に人づきあいの場にいることが増えた。最初の頃は、それでも周りの意見なんてどうでもいいと思っていた。そんな状況が続く常会の役員や息子の保護者会長などをやるうちに自分の愚かさに気づかされた。人は一人じゃ生きていけない。周りに生かされて楽しい日々が過ぎてきている事に気がついた。そう思い生活していると大災害などが起きた時も地域の方たちとの交流があるおかげでみんなと助け合える。思いあいの気持ちがあればどんな困難も乗りこえられる。僕の考えを変えてくれた先輩ありがとう。

図書館からのお知らせ

* 映画上映会「ひとひひとひの戦場 最後の零戦パイロット」
(楠山 忠之監督)
伝承館との共同企画で「戦争」をテーマに展示を行います。それに合わせて、映画上映会をします。
期日：8月10日(金)
午後1:30～3:00
会場：トレーニングセンター
ふるさと大ホール
・入場無料です。
* お盆の休館・開館時間
14日(火)じゃんずらのため休館
15日・16日：9時～17時開館
* 蔵書点検のため臨時休館します
8月28日(火)～30日(木)休館
ご理解ご協力をお願いします。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.36

編集＝山形村図書館

「自然観察クラブ」夏編 ピオトープ 想い出探しの水辺へ

7月14日(土)、小坂の八幡神社近くのピオトープ(水辺)で20名の親子が水中の生き物をさがして遊びました。アクアの会の上條さんの案内で、タモ網やザルで思い思いに水の中をさぐります。

ドジョウやアカハライモリ、ヤゴやコオイムシなどを見つけつつ観察しました。水辺に生えているヨシの笛作りも紹介しました。野生の生き物がのびのびと生息できる環境を大切にしたいですね。



ワクワク遊んでドキドキ学ぶ
「科学道100冊ジュニア」
図書館では7月1日～8月26日まで、『科学道ジュニア100冊』展を

開催しています。

「科学道」は理化学研究所・編集工学研究所の共同プロジェクトです。本を通じて科学者の生き方・考え方や科学のおもしろさ・素晴らしさを届ける事業です。



賛同する全国の書店・図書館で展開しています。村図書館も応募し、今回の企画展が実現しました。子どもたちの身の回りの世界には、発見、驚愕、歓喜、波乱万丈が渦巻いていて、ふしぎだな、なんだらうなと好奇心を絶えず刺激します。

「科学道ジュニア」はいろいろな切り口で科学の入口へ招待してくれます。大人の入門書としても最適です。好奇心のままに探索してみてください。

100冊をリストにしたブックレットを差し上げています。



山形村図書館のこれからは…？
利用者のみなさんの声を反映して図書館協議会が答申しました。

平成29年度、山形村図書館長は図書館協議会に「山形村図書館の

今後のあり方」について意見を求めました。5回にわたる協議の末に、山形村図書館のさらなる充実を求めた答申が提出されました。教育委員会にて協議され、3月26日、村長に報告しました。答申内容は図書館のホームページで見られます。ご注目ください。

私のこの一枚

図書館利用者 山岸恵子
DVD『うまれる』

豪田トモ…監督

私のこの一枚は、豪田トモ監督『うまれる』です。子どもを産み育てて親になるといっつのは、奇跡の連続であり、「どの命も等しく、そして尊い」という事を、身の縮まる思いで夫婦で号泣しながら見終えた作品です。

さらに私がぐっと心つかまれるのはオープニング映像です。戸惑う光の玉を、大きな愛で包んでいるかのような壮大な光との共鳴音による会話。なんておつきく、なんて優しいんだらうと、「私の命の始まりは、きつとこんな感じで、こつやつて生まれてきたのかもしれないな」と、この映像を見るたびに力強い生きるエネルギーを感じます。だからこそ、見えない先の不安も大丈夫だ！と思えてくる、とても素晴らしい映像です。



おすすめ新着本紹介

今回は、「科学道100冊ジュニア」の中から紹介します。

『子どもが体験するべき50の危険なこと』ゲイバー・タリー
(オライリー・ジャパン)

親子で試してみよう。「本当の危険を見きわめる力」と「それに対処する力」を養うために。
『科学の実験大図鑑』ロバート・ウインストン(新星出版社)

「世界一美しいキャンディー」ねばねばスライム」「レモン・パツテリー」いろんな実験にチャレンジして、科学の冒険に出かけよう。
『自然のとびら』ケイ・マグワイア(アノニマ・スタジオ)

季節のうつろいを気づかせてくれる庭、野菜畑、森、人々の暮らしす街…。8つの場所ごとに、春夏秋冬のささやかで美しい情景を描く『クロスセクション』リチャード・プラット(岩波書店)

お城や、海底油田、スペースシヤトルなどの内部の様子を隅々までよくわかる「輪切り図鑑」。ユーモアに富んだ説明も楽しい。





バスハイク



“海の幸満喫ふれあいバスハイク”と題し、富山県氷見方面を巡る。



6/23 (土) 中大池分館



群馬県にて、碓氷峠鉄道文化むらや富岡製糸場を巡る。

6/17 (日) 下大池分館



◀新鮮な海の幸に舌鼓。昼間からのお酒もオツだね。

世界遺産の富岡製糸場前で記念撮影。



7/8 (日) 小坂分館

長いことで有名な春日山神社の石段。



新潟県上越方面を巡る。水族館などを満喫した。



7/1 (日) 下竹田分館



◀間近でマゼランペンギンを堪能。

館内はいつも賑やかです。平日は常時80名ほどの児童があり、おやつを食べたり、宿題をしたり、大広間で遊んだりして充実した時間を過ごします。また、月一回、お誕生日会やおはなし会、季節ごとのイベントも行っており、

放課後児童クラブは、児童が下校後や長期の休みの際、家に保護者がいない場合に登録して利用することができます。

放課後児童クラブってなに？

放課後児童クラブは、児童が下校後や長期の休みの際、家に保護者がいない場合に登録して利用することができます。主な利用は次のとおり。小学生が遊びで利用
レインボークラブ（山形の児童が対象の教室）
乳幼児及び保護者のサークル活動
放課後児童クラブ

どうすれば利用できるの？

ふれあい児童館とは、0歳から18歳までの子どもが利用できる場所です。場所は知っている方も多いと思いますが、意外と知らない児童館を調べてみました。

ふれあい児童館ってどんなところ？

取材時には、子どもが作った七夕の星形短冊が玄関に設置されており、来館者を歓迎してくれました。



どんな部屋があるの？

- 学習室
- 図書コーナー
- たたみコーナー
- ひだまりの部屋
- ふれあい童夢（ドーム）
- ほか



これから夏休みが始まりますが、保護者が安心して子どもを預けられる、そして、子どもが楽しんで過ごせる児童館が地域にあるって良いな、と思いました。

人権研修会

6月28日(木)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて山形村人権教育推進委員会が主催する人権研修会が行われました。

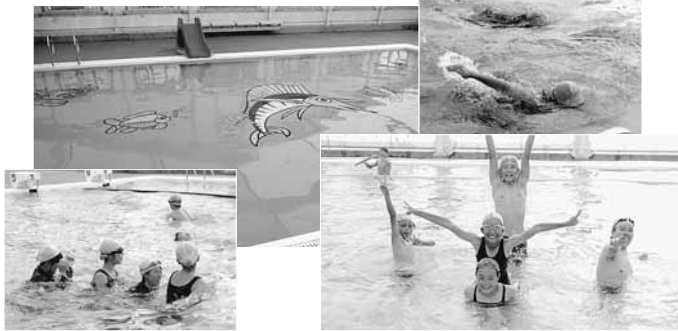
はじめに村人権の活動報告があり、各地区で人権教育を広めてほしいとの言葉がありました。その後、中信教育事務所生涯学習課から松井指導主事を講師にお招きし、人が

大切にされる地域づくり」と題して講演会が行われました。主に人権問題、部落差別についてのお話があり、出席者は真剣に耳をかたむけていました。いまだに根強く残る人権問題は断ち切るの容易ではないと言われてます。現在は部落差別はあまり目立たなくなってきたと感じますが、それでも今も戦っている人がいることも事実です。これらを自分たちの子ども

B & G プール営業中です！

6月30日(土)、今年も山形村B & G海洋センターのプールがオープンしました。連日の猛暑のこともあり、当日は村内外から70名を超える入館者がありました。

皆さんもプールで夏を乗り切ってみませんか？



プール営業は9月1日(土)まで。小学校等の団体利用もあるので、日程の詳細は教育委員会(98-3155)までお問い合わせください。

や孫の世代に残さないよう少しずつでも今ある人たちが解決していききたいものです。



第24回山形村ソフトバレー大会

7月8日(日)、トレーニングセンター体育館にて4人制ソフトバレー大会が行われ、村内外より全18チームが出場しました。山形村と姉妹協定を結んでいた旧青海町(現系魚川市)からも3チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。



王滝村交流パート2

6月18日(月)、生き生き大学は王滝村公民館との交流を行いました。昨年は山形村で長いも料理などを作ったり清水寺見学をしたりしましたが、今年は王滝村でほうば巻き作りなどを行いました。この交流を通して、お互いに新たな趣味の発見などができたのではないのでしょうか。



手まり講座

7月11日(水)、室井由美子さん(下竹田)を講師に手まり講座が開催されました。昨年からの好評な講座で、今回は7名の受講生で全6回行います。ほとんどの参加者が初心者で細かい作業に苦労しながらも冗談を言いながら和気あいあいと作っていました。なお、作品は文化祭で展示予定です。



お菓子作り講座

7月8日(日)、トレーニングセンター調理室にてお菓子作り講座が行われました。イベントなどでお菓子を販売している「ナカラ」のオーナー、石川奈緒さん(下竹田)を講師にお招きし、初回となる今回は「卵・牛乳・乳製品を使わないスコーン」の作り方を教えていただきました。とうもろこし粉を使ったものとドライフルーツをまぶしたものの2種類を習いました。お子さん連れの参加者も多く、子どもたちも動物の形を作ったり、楽しそうでした。オープンで焼



山

の情報局

ちびっこ集まれ!

趣味を通じて交流

6月14日(木)、山形小学校で「わくわくクラブ」が始まりました。参加しているのは4年生、6年生の児童で、16ものクラブがあり、それぞれに地元の方々が講師として参加しています。



山形村の郷土料理クラブ

今回で22回目!

6月17日(日)、やまのこ保育園にて「やまのこまつり」が開催され、大勢の方で賑わっていました。



海の学習 in 日間賀島

7月4日(水)・5日(木)、5年生の児童が海の学習を愛知県で行いました。干物作り体験や海の生物とのふれあいなどで、充実した時間を過ごしました。



子どもたちにとって趣味の幅を広げることはもちろんですが、クラブを通じ大人と交流出来るとても良い活動だと感じました。



絵てがみクラブ



将棋クラブ

凄いで！ヤマリククラブ

6月24日(日)、松本平広域陸上競技場にて県小学生陸上競技大会が開催され、ヤマリククラブからも中信大会を突破した11名が参加しました。その結果、男子1,000mでは丸山直生くん、女子1,000mでは平林さくらさん、女子走り高跳びでは因幡真桜さんがそれぞれ優勝という快挙を成し遂げました。さくらさんは「みんな速か

金メダリストも登場!?

6月29日(金)、山形小学校体育館にて「校内音楽会」が開催されました。先生たちの合唱の際には、平昌オリンピッククメダリスト(?)が登場。会場が大いに沸きました。



1年生は可愛らしく、また6年生は威風堂々とした合唱合奏で、素晴らしい音楽会となりました。



ったけど、1位になれて嬉しかったです」と話してくれました。



風

(敬称略)

おめでた(子・親)

竹野 百福・高弘 真彩・上竹田

矢原なつき 健士郎 小坂あかね

古川 朝陽・純一 さやか 上竹田

寺島 匠海・豊 千絵 下竹田

おくやみ

塩原 好春・88歳・下大池
中川八重子・93歳・小坂堤
柏・92歳・上大池



訂正とお詫び

館報やまがた6月号の「風」のコーナーにて、おくやみ欄掲載の村瀬伊三夫さんの行政区が「上竹田」となっていました。正確には「小坂」です。訂正し深くお詫び申し上げます。



御神体の石碑

6月17日(日)、清水高原の麓にある下竹田共有山にて鳥居の建て替えが行われました。実に30年以上振りの神事です。共有山の入口から御神体である大山神の石碑まで3基の鳥居があり、このうち60年以上前に建てられた1基が建て替えられました。塗装をしていないむき身の鳥居は、山林と下竹田の皆さんに守られながら参道に立ち続けましたが、今回その役目を終えることとなりました。長い間風雨に耐えてきた柱は、数人の男性が寄り掛かっただけで「ミシミシ」と音を立てながらあつけないく倒れ、まるでその時を知っていたかのようでした。

下竹田共有山 鳥居建て替え

時代の変化に伴って失われる文化がある中、先人が残してくれたものを長い間守り続けている方々がいいます。その活動の一端をご紹介します。

「共有山」という言葉に馴染みのない方は多いのではないのでしょうか？私も今回の取材で(おそろく)初めて耳にしました。共有山は言葉の通り複数人の地権者が共有する山のことで、炭焼きの材料や田畑の補強材を手に入れるための場を共同で管理したのが始まりです。時代が変わりその恩恵が薄れるとともに公共有・私有化が進み、現在は減少の一途を辿っています。正式な記録はありませんが、下竹田の共有山は江戸時代末期頃にこのシステムが出来ていたそうです。他の共有山同様直接的な利益を生むことはほとんどありませんが、防災のため、なにより下竹田が現在の姿になるまで尽力されてきた祖先への感謝を込めて、地域の方々によって守られ続けています。

さて、鳥居の「建て替え」というからにはもちろん新しい鳥居が建ちましたが、「建て替えよう」「そうしよう」ですぐに着手できるほど簡単ではありません。計画、費用捻出、木の選定・切り出し・乾燥・加工、職人手配、機材調達など、2年以上かけて準備してきました。そして当日、13名の地権者が多忙の合間を



新しい鳥居にて

梅雨のこの時期にまたとない快晴に恵まれたのは、共有山への感謝の気持ちが天に届いたからでしょう。冒頭で述べた最古の鳥居は姿形こそなくなってしまうましたが、そこに込められた「想い」は新しい鳥居に宿り、これからの下竹田を見守ってくれることでしょう。



組み上げ

深さは...?

縫って集まり、無事に建て替えを終えることができました。

みんなの人権 ⑦

「アルウインの歓声と足元の戦争遺跡」

～宗福寺 学童疎開碑と 平凡な毎日(平和)のありがたさ～



夏の夕暮れ時ときたまアルウイン方面からサッカーゲームに興じるサポーターたちの歓声が聞こえて来ます。

実は、このアルウインスタジアムから菅野小学校的周辺には、今から70数年前の太平洋戦争当時、旧陸軍飛行場が設けられていました。菅野小グラウンド脇の松本市戦争記念碑には、昭和19年冬以降に進められた整地工事のため、広さ200haの土地に延べ10万人以上の労働者が投入され、そのなかには、わが村を始めとする近傍の住民、学生、児童さらには多くの朝鮮の人々も動員されたことと記されています。毎年、この時期は「平和であること」のありがたさを噛みしめる時でもあります。先日、上大池・宗福寺の境内を散策している折、一つの記念碑を目にしました。それは昭和20年、宗福寺で集団疎開生活を余儀なくされた、東京・世田谷区奥沢国民学校の学童仲間47名の「学童集団疎開碑」でした。太平洋戦争末期、連合軍による本土空襲の難を逃れるために、都会の初等科三年生、六年生の学童は、地方への集団疎開を余儀なくされました。わが山形村にも昭和20年5月、奥沢国民学校から対象の学童が入村してきました。子どもたちは、宝積寺と宗福寺を宿舎にして、山形国民学校(山形小の前身)へ通学しながら、勤労奉仕や家庭動労で銃後の生活を支えたとされています。こんな足元にも、戦時下の足跡が刻まれていました。(村伝承館ミニ展示資料「山形村にも疎開の子供がやってきた」(H29・3))

ところで、いたいけな兄妹・清太と節子の死から戦争の悲惨さを描いたアニメ映画「火垂るの墓」(原作 野坂昭如)の監督・高畑勲さんが、この4月に逝去されました。享年82歳。戦時下で少年時代を過ごした高畑さんは、生前「戦後70数年、再びいつか来た道へ向かわないためにも、あの戦争がどのように進んでいったかを学ばなければならぬ」と、するする体質を持つ私たちに、警鐘を鳴らしていました。広島・呉を舞台に、戦時下の日常を描いた漫画「この世界の片隅に」(この史代)も、「ぼんやりしている」と、日々の何気ない暮らしの中に生まれる些細な変化、そこに時代の禍々しい影が差して来ていることを、つい見逃してしまう」ことの怖さを、厳しく問うているように思います。「平凡な毎日のありがたさ」の大前提は、まずは「平和」であること。相次いで列島を襲う地震や集中豪雨、国内外で露呈している社会的構造的な腐朽化現象など、「不確実性の時代」を生きている毎日。アルウインの歓声が、子々孫々まで「平和の歓声」であり続けることを祈らずにはいられません。(H30・7 M・H記)



仲間づくりと健康づくりで地域にも貢献

なろう原公園 マレットゴルフ愛好会



絆

KIZUNA

取材に訪れた7月8日(日)は、「第34回会員夏の大会」が開催され26名が参加していました。会員の皆さんはホールインワンや珍プレーに盛り上がり、その声は年齢を感じさせない活気がありました。マレットゴルフを通じた仲間同士の絆が健康維持につながっており、今後も地域で活躍される会員の皆さんでしよう。

なろう原公園マレットゴルフ愛好会(上條智佐雄会長 中大池)は平成19年に結成され、村内のマレットゴルフ好きな仲間が集まり、現在会員数は55名で最高齢者は97歳になるそうです。

「マレットゴルフを純粹に楽しむことはもちろん、高齢者の「仲間づくり」と「健康づくり」が目的で、「マレットゴルフをやり公園に来ることができれば健康な証拠。病院に行く回数より、マレットをやりに来る回数が多くなればいいね」と上條会長は笑顔で話してくれました。

月例会や大会でお世話になっているコース整備も行っており、村の施設の維持管理にも貢献しています。また、公園の案内看板の設置も愛好会で行ったそうです。

小野ひなたさん

上竹田
(高2・しし座)



稲田 結心くん

小坂
(3歳・かに座)

かるたに夢中 理系女子



ひなたさんは現在高校2年生。一見ほんわかとした雰囲気ですが、その中身は我が道を行く理系女子です。今夢中なのは競技かるた。これは小倉百人一首を競技にしたものです。札を取るためには音の聞き分けが重要だそうで、学校で先生が話す言葉をつい先取りで予想してしまうこともあるとか。また物理化学部にも入っており個性豊かな部員と刺激を与えています。

理学・薬学・宇宙学などに興味があり、将来はどの分野を目指すか迷っているそうですが、きっと彼女らしいひと札を取りに行くに違いありません。楽しみですね。

太鼓好きは 誰にも負けない



結心くんは今、和太鼓に熱中しています。きっかけはお兄ちゃんたちの「彌磨太鼓」の練習を見に行ったこと。一緒にやりたかったけど、小さいので入ることができませんでした。それ以来、朝から晩まで太鼓を叩き、太鼓を隠すと床まで叩くのでお母さんを困らせていました。そんな話を聞いた先生が胸を打たれて今年の2月からクラブに入ることを認めてくれ、念願の和太鼓を叩くことができるようになりました。若干3歳ながら、腕もたくましくなり、大好きな太鼓に汗を流してまさにキラキラとした青春を送っています。